

平成 23 年度 (社)日本家政学会中部支部第 1 回役員会議事録

日 時：平成 23 年 7 月 30 日(土) 11:00～16:05

場 所：三重大学 教育学部 1 号館 402 室

出席者：東珠実、池田彩子、石原久代、伊藤きよ子、太田壽江、佐藤生一、高田洋子
中島喜代子、成田公子、長谷川えり子、三輪聖子

欠席者：江崎秀男、尾畑納子、近藤みゆき、櫻井のり子、長野宏子、新澤祥恵、松岡英子
森俊夫

(敬称略 五十音順)

- ・平成 22 年度第 3 回役員会議事録の確認があり、これを承認した。

I. 報告事項

1. 理事会報告

- ・石原支部長より、平成 23 年度前期活動助成申請分について全額承認されたことが報告された。
- ・石原支部長より、4 月 23 日に開催された第 1 回理事会の報告があり、①東日本大震災に対する学会の取り組みは継続して行う、②活動助成申請の上限は半期 10 万円である、③学会開催時に実施する部会の講演会は助成対象外であるとの説明がなされた。
- ・石原支部長より、5 月 28 日開催の通常総会において代議員の書面出席が多かったことが報告された。総会における議決権は代議員にある。このため、支部から代議員を選出するときは大会に出席が可能な人にしてほしいと理事会から要望があったことが報告された。
- ・会長経験者 3 名に対し名誉会員証を授与したことが報告された。
- ・学会への貢献度は高いが名誉会員には該当しない 1 名に、特別感謝状を授与したことが報告された。
- ・入会申し込みの承認について、今後は電子的理事会を開催して行うことが報告された。

2. 平成 23 年度第 1 回役員連絡会報告

- ・第 1 回役員連絡会(6 月 11 日開催)報告が議事録をもとに行なわれた。

3. 中部支部賞について

- ・東中部支部賞選考委員長より、論文賞の受賞者として中村けい氏(椋山女学園大学)を選考したことが報告された。

4. その他

- ・石原支部長から、今年度の本部理事候補者・代議員選挙費用は支部で予算化していないため、郵送費については学会本部で負担することが報告された。

II. 協議事項

1. (社)日本家政学会中部支部規約改正について

- ・中部支部規約第 6 条において若干名としている幹事の人数を、現状を踏まえ 15 名以内とす

る案が了承された。

- ・石原支部長より、新法人化に伴い、家政学会は一般社団法人となったため、規約における記載も一般社団法人とすることが報告された。また、略号の(社)はこれまで通り使用できることが報告された。これらの変更点についての改正案を23年度総会に提案することとした。

2. (社)日本家政学会中部支部内規・申し合わせ事項の変更について

- ・家政学会支部選挙規程に基づいて、本部理事候補者および代議員の選出内規を資料のように変更することが了承された。支部長候補者の選出内規については従来そのままとした。
- ・内規の改正に伴い、申し合わせ事項として資料のように「理事候補者選出方法に関する申し合わせ」と「代議員選出方法に関する申し合わせ」を追加することが了承された。
- ・石原支部長より、中部支部の理事候補者定数は5名、代議員定数は7名であること、また、支部会員の代議員の立候補受付を7月20日まで行ったが、立候補者は0名であったことが報告された。

3. 役員選考委員会および選挙管理委員会の設置について

- ・支部役員および本部理事候補者・代議員の選出にあたり、新内規に基づき役員選考委員会と選挙管理委員会を設置し、各委員会委員を下記のように決定した。

役員選考委員会 石原久代支部長、東珠実副支部長

池田彩子、佐藤生一、高田洋子、中島喜代子、長谷川えり子
三輪聖子

選挙管理委員会 成田公子委員長、伊藤きよ子、太田壽江

- ・新法人における家政学会支部選挙規程により、理事候補者と代議員は支部会員による選挙を経て選出することになったため、選挙方法の役員連絡会案が石原支部長より示された。検討の結果、理事候補者は、家政学会支部選挙規程第5条で有資格者と認められる本部委員会委員または支部役員を2期以上経験した者28名を被選挙人とし、代議員は支部役員経験者から30名程度を被選挙人とすることが新たに提案され、これを承認した。選挙は郵送にて実施し、9月7日(水)を締め切りとすることを確認した。
- ・石原支部長より、平成24年度・25年度の幹事候補者を所属先のグループ分けをもとに選出し、9月7日(水)までに報告するよう依頼がなされた。
- ・平成24年度・25年度の支部長・副支部長・監事候補者は、第1回役員会当日に開催する役員選考委員会にて選出することが報告された。

4. 平成23年度支部総会について

- ・今年度は選挙日程の都合により総会資料を郵送しないこととした。また、総会資料は研究発表要旨集とは別冊子とすることを確認した。
- ・3月26日開催の平成22年度支部総会にて承認された事項は報告事項として扱うことを確認した。

5. 平成23年度支部研究発表会について

- ・中島幹事および大会担当者より、平成23年度支部研究発表会の日程、交通案内、会場、講演会、発表申し込み件数と発表プログラム、予算案、参加申込書について説明があり、以下の点を検討・修正のうえ了承した。

- ① 要旨集は活動助成金の対象となっていることから、一般講演の要旨が要旨集の約半分を占めるように、要旨の執筆を依頼する。
 - ② 大会発表奨励賞にエントリーしている発表者の発表順を、審査に支障がないように調整する。
 - ③ 発表者の所属を区別する*印は、氏名の右上および所属名の左上に付け、*、**、*3と表わす。また、所属の記載方法を統一する。
 - ④ 予算案には参加費、交流会費も計上する。
- ・口頭発表の座長を以下のように決定した。

A 会場(被服・住居)	A1～A3	長谷川えり子
	A4～A6	富田明美 (学会を欠席の場合は小町谷寿子)
	A7・A8	高田洋子
B 会場(食物)	B1～B3	新澤祥恵
	B4・B5	佐藤生一
	B6～B8	成田公子
	B9・B10	長野宏子
6. 平成 23 年度家政学関連院生・学生研究発表会について
 - ・平成 23 年度家政学関連院生・学生研究発表会は、椛山女学園大学にて 3 月 10 日(土)に開催することが了承された。
 7. 平成 24 年度支部研究発表会担当校について
 - ・平成 24 年度の支部研究発表会は岐阜大学で開催することが了承された。
 8. その他
 - ・功労賞候補者として大羽和子氏 (中部大学) を推薦することが了承された。

以上